

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度： 令和 4 年度

施設所管課： 相知市民センター産業・教育 課

1 施設の概要

施設名	唐津市相知交流文化センター	所在地	唐津市相知町中山3600番地8
設置目的	本市における文化活動及び社会教育活動の推進を図り、もって市民文化の発展向上に資するための拠点として、唐津市相知交流文化センターを設置するもの。		
休館日	12月29日から1月3日まで	開館時間	午前9時から午後9時30分まで (日・月・祝日は、午後5時まで)

2 施設の利用状況

説明	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	利用状況の傾向と増減の要因
利用者数	24,827人	7,222人	12,933人	23,316人	利用者は増加傾向にある。新型コロナウイルス感染症による利用の自粛が少なかった。少しずつコロナ前の利用者数に戻つつある。
事業参加者数	537人	150人	178人	448人	サライピアノコンサート、芸術文化におけるワークショップ事業を実施した。新型コロナウイルス感染症による事業中止がなかった。

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	公益財団法人唐津市文化事業団		
	所在地	唐津市西城内5番26号		
	代表者	理事長 今村 繁公		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日			
指定管理者の業務内容	・唐津市相知交流文化センター利用の許可に関する業務 ・唐津市相知交流文化センターの施設及び設備の維持管理などに関する業務 ・その他、市が必要と認める業務			
事業の実施状況	・サライピアノコンサート 佐賀市プロモーション大使で歌手の吉武大地（よしただけ だいち）さんをお迎えしてコンサートを実施した。 ・芸術文化におけるワークショップ事業 唐津市内の小学校2校（相知小、久里小）で九州管楽合奏団（木管五重奏）による演奏会を実施した。			
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等	常勤の内訳	
	2人	1人	事務員2名	

4 指定業務の収支状況 ※仕様書や協定書に記載された業務

単位：円

	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	増減額
収入	36,461,130	36,502,000	-40,870
指定管理料	36,461,065	36,502,000	-40,935
利用料金収入 ※利用料金制の場合のみ	0	0	
その他収入	65	0	65
支出	36,552,798	36,918,720	-365,922
人件費	15,378,165	15,370,857	7,308
施設管理費	21,174,633	21,547,863	-373,230
光熱水費	693,102	725,208	-32,106
修繕費	965,250	365,970	599,280
広告宣伝費	0	0	
委託料（再委託）	16,276,248	17,011,083	-734,835
保険料	31,700	0	31,700
事務費	3,208,333	3,445,602	-237,269
施設使用料	0	0	
その他支出	0	0	
収支	-91,668	-416,720	325,052
利益配分額	-	-	

5 自主事業の収支状況 ※行政サービス向上のため、自主的に行う事業

単位：円

	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	増減額
収入	1,425,981	897,664	528,317
参加料収入	127,300	0	127,300
助成金・補助金	896,000	550,889	345,111
自動販売機売上	402,681	346,775	55,906
支出	1,425,981	897,664	528,317
自主事業費	1,023,300	550,889	472,411
光熱水費	144,000	144,000	
事務費	258,681	202,775	55,906
収支	0	0	

6 項目別評価

評価項目		評価の根拠 (確認資料等)	自己評価	市の評価
1 業務の履行状況				
(1) 運營業務（全般）				
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	出勤簿、管理日誌、施設管理関係綴	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	使用料報告書、領収書控	適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	利用状況報告書	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	防火管理者選任届、消防計画作成届	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	指定勤務表、有給休暇届	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	企画会議綴、ワーキング委員会綴	A	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	業務日誌	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	利用状況報告書	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	企画会議綴、ワーキング委員会綴	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	事業計画書、実地調査	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	災害・事故報告書	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	緊急連絡名簿、消防計画、消火・避難訓練	A	A
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	唐津市個人情報保護条例の遵守	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	施設利用申請書の適正管理	適	適
(2) 維持管理業務				
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	事業計画書、事業報告書、実地調査	適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	年間委託契約書綴、施設管理関係綴	A	B
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	年間委託契約書綴、施設管理関係綴	A	B
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	指定管理者関係綴	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	年間委託契約書綴、施設管理関係綴	適	適

2 サービスの質				
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）				
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	施設管理関係綴	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	施設管理関係綴	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	実地調査	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	災害・事故報告書、企画会議綴	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	自主事業関係綴、アンケートの実施	A	B
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	自主事業関係綴、アンケートの実施	A	B
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	自主事業関係綴、アンケートの実施	A	B
④施設の利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	事業報告書	A	B
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	実地調査	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	自主事業関係綴、実地調査	A	A
(2) 事業実施状況				
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	事業計画書、事業報告書	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	事業計画書、事業報告書	A	A
(3) 地域貢献				
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	事業報告書	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	公民館との連携	A	A
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	年間委託契約書綴、施設管理関係綴	A	A
3 継続性・安定性				
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）				
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	会計帳簿	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	事業報告書 決算書	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	管理運営費綴	適	適
(2) 収支状況				
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	事業報告書 決算書	B	B
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	事業報告書 決算書	B	B
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	事業報告書 決算書	B	B

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	B	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント 令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けた。唐津市民会館の建替えに伴い利用者の増加が見込まれる中「サライピアノコンサート」「ワークショップ事業」を開催されるなど、コロナ禍においても感染症対策を行いながら文化振興の拠点づくりとしての施設の設置目的に沿った運営が行われた。令和5年度以降も施設の特徴を十分に活かした独自のアイデアを反映した文化振興事業に期待したい。
	2 サービスの質	A	
	3 継続性・安定性	B	
総合評価		B	